学校番号	1008

令和　　5　　年度　　数学 科

教科	数学	科目	深学数学Ａ	単位数	1	年次	2
使用教科書	新編　数学Ⅰ　　新編　数学A　（※１年次から引き続いての使用）						
副教材等	ミニ模試フルマラソン　数学Ⅰ・Ａ						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

既習事項をさらに発展させ、受験問題にも対応できる力の定着を目指しましょう。
授業で扱う内容は、１年次での内容をさらに発展させたものとなります。予習→授業→復習　の流れを確立させ、家庭学習時間も十分に確保できるようにしましょう。予習でわからなかったところを授業で確認し、復習で定着させることにより、次年度でのさらに発展的な内容の授業につながります。

２　学習の到達目標

『数学ＩＡプラス』と関連する授業の内容をさらに発展させ、より応用的な知識の定着をめざす。また、理系の進学希望者が大学受験問題に対応できるい数学ＩＡの力を身に着けることを目標とする。

①数学ＩＡに関する基本事項を総復習し確実に定着させることをめざします。
②基本事項を用いた発展的な問題について演習を通して、自力で考え解答を作成できる力の定着をめざします。
③ 自発的,創造的に取り組む態度を養い,難題にも徹底的に向き合い,考え抜いて行動する態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数学ＩＡに関する基本的な知識を身に着けており、解答に生かすことができる。	・基本的な事項を応用的に扱い、記述問題の解答を作成することができる。 ・１つの問題に対して複数の解法を考えたり、利用されている定義・定理を見つめなおすことにより、効率的に解答に至る手順を考え直したりしている。	・予習、復習を確実に行うことができる力を身に着けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動						
学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		【数学Ⅰ】 数と式 ２次関数 【数学Ａ】 場合の数と確率	q:　学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に生かすことができる。 b:発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c: ・予習、復習を確実に行うことができる力を身に着けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／ 相互評価　など 発表　など

２ 学 期		【数学Ⅰ】 ２次関数 図形と軽量 【数学Ａ】 図形の性質	q:　学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に生かすことができる。 b:発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c: ・予習、復習を確実に行うことができる力を身に着けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／ 相互評価　など 発表　など
３ 学 期		【数学Ⅰ】 データの分析 【数学Ａ】 整数の性質	q:　学習内容に関する基本事項を理解し、問題の解答に生かすことができる。 b:発展的な問題や、記述での解答作成が必要な問題について正しく知識を利用し、解答に至る手順を含めて自力で取り組むことができる。 c: ・予習、復習を確実に行うことができる力を身に着けようとしている。 ・積極的に課題に取り組み、自力で課題を解決しようとする意志がある。 ・疑問に感じたことを適切な表現で質問したり、調べたり、教えあったりすることができる。	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 小テスト 定期考査	成果物 ワークシート 自己評価／ 相互評価　など 発表　など